

令和5年度第1回ふれあい座談会

主催	ふじみ野市手をつなぐ育成会
テーマ	会員が日頃感じている疑問や不安、要望など
日時	令和5年12月9日（土）午前10時～11時30分
場所	ゆめぼると（大井総合支所2階）
参加者	14名
市出席者	ふじみ野市長、障がい福祉課課長、学校教育課課長、広報広聴課課長、広報広聴課主任

《主な意見等》

広報広聴課長

それでは、これより市長と語るふれあい座談会を開催させていただきます。初めに高畑市長よりご挨拶申し上げます。

《市長挨拶》

広報広聴課長

それではふじみ野市手をつなぐ育成会会長よりご挨拶をお願いいたします。また、この後の進行につきましては、会の方でお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

《ふじみ野市手をつなぐ育成会会長挨拶》

司会

よろしくお願いいたします。皆さんお手元に資料があると思うのですが、14番、15番、16番をメインテーマとさせていただきます。それが終わりましたら質疑応答の時間にしたいと思います。では早速ですが、14番、6ページから進めます。

<就労後の生活>

【事前質問14】

福祉の働く場所「にこまる」「歩歩」がなくなりとても残念です。障がいのある方の自立への可能性が狭まり、周りで見守ってくださる市民の方々のふれあいの場がなくなるのは、国の施行と逆行しているように受け取れます。

【事前質問14 回答】

令和5年4月から福祉喫茶歩歩が4店舗から2店舗に縮小されました。また、大井総合支所のベーぐるカフェにこまるが令和5年6月に閉店しました。これに伴い、障がい者の仕事内容に変更が生じた方もいますが、継続して働くことの確認は事前に行っております。

歩歩は特定非営利活動法人が運営しており、コロナ禍の中で喫茶が営業できなくなった時期に公共施設を利用する方に購入していただくためにクッキー販売に力を入れるなど工夫を凝らした営業努力をした結果、施設利用者と障がい者の交流も増え、売上も上がった店舗もありました。市としても運営が安定するために補助金を交付するなどの支援をしてまいりましたが、様々な理由により2店舗に縮小となりました。

また、ベーぐるカフェにこまるにつきましては、困窮世帯や複雑な事情を抱えた方の相談支援の充実を図ることを目的に、大井総合支所1階に社会福祉協議会大井支所及びふくし総合相談センターにじいろを移転するため、厨房部分を撤去せざるを得なくなりました。市では他の公共施設での運営の提案なども行い、作業所側と閉店作業とその後に向けた支援など丁寧に進めてまいりました。

障がい者がお客様に対面で販売する喫茶の場所は少なくなりましたが、閉店したフクトピア、上福岡図書館、大井総合支所では定期的な販売を継続しており、また、新文化施設のステラ・ウェストでも販売を開始します。その他イベントなどで販売機会があればその都度情報を提供して、障がい者の働く場の充実に努めてまいります。

という回答ですが、質問、ご意見、お願いいたします。

参加者

私達も、支援学校卒業後はできるだけ仕事に就いてほしいと考えています。

ずっと在宅ということは、その家族も大変な部分がありますから、昼間は、そういう施設に就労してほしいというのが要望なので、今後ともそういう施設が増えることを願っています。

ステラ・ウェストも完成しましたので、そういう所にできるだけ障がい者を雇っていただける施設を作っていただきたいと思います。

市長

障がいのある方々の雇用の方や就労の機会を増やしていくということは、当然だと思っています。しかし、にこまるの件につきましては回答でお示したように、大井総合支所の中に社会福祉協議会が入るために、最終的な判断とし

て厨房設備を撤去せざるを得ませんでした。

おおい作業所とはいろいろ検討を重ねて、運営に差し障りのないような形で、弁当の製造などができる調理場をどこかに作れないかとか、総合福祉センターの中に作れないかなどいろいろ検討しましたが、調整が難しく結論が出るまでにはいかなかったというのが実態です。

大井総合福祉センター内にある社会福祉協議会大井支所と介護予防センター内のふくし総合相談センターにじいろを、西側地域の拠点である大井総合支所に入れて連携させるということは、高齢者や課題を抱える方へのワンストップサービスを向上させるという面で大きな意味があります。大した距離ではないように思われるかもしれませんが、高齢者の方などが移動するにはそれなりに大変ですので、まずは着手をさせていただいたところです。現在のおおい作業所も老朽化しているので、今後に向けて調整や検討を進めていきたいと考えています。

喫茶歩歩ですが、この回答にも書いてあるように、続けるのが厳しい、規模の縮小をしたいと法人側からの申し出があったということです。私たちもそれに代わる何かを確保しなくてはいけないと認識しておりますので、引き続き、話し合いをすすめていきたいと考えております。

参加者

大井中央公民館にあった喫茶おおいは、まちの人たちに障がい者が働いてる姿を見てもらうと同時に、障がい者の仲間たちも働いている姿を見て働きたいと思う、そういう目的で育成会が最初にスタートさせました。

そして今回、おおい作業所が運営をやっていただけるとのことでお任せしていました。私たち育成会も情報収集の面で動きが鈍かったのも、おおい作業所とそういう話ができなかったことは反省点です。しかし、今後もぜひ働く場所を作っていってほしいと思います。

参加者

市報12月号は障害者週間と併せた企画となっていて、障がい者の働く姿も紹介してもらえてとても良かったと思っています。ありがとうございます。

12月に開催するふれあい広場も多くの人に知ってほしいと思います。これはお願いですが、市長がお忙しいことは重々承知の上で、市長にいろいろな就労支援施設を回っていただき、買い物してる姿を撮影していただけるとすごくありがたいと思います。その写真を市報に掲載できれば、相当効果があると思います。

参加者

今回、障害者優先調達法でいくら市が購入したかという質問を事前にしようと思っていたのですが、忘れてしまいました。しかし、いつも500万円とか600万円だとか、金額が増えているのを拝見して、とてもありがたいと思っています。

私の子どもは作業所に行っており、ふじみ野市の職員の方の名刺などを作り、納品に伺うという仕事をしています。そのことを本人が仕事として理解しているとよいのですが、納品に伺って、ありがとうという言葉を受け取る、そういった日々の積み重ねの中から理解されていくのかなと思うと、親としてはとてもありがたいと思っています。

私も育成会で名刺を作ったのですが、いろいろな市職員の方と名刺交換させていただく際、職員の方もおい作業所で作った名刺を使っていたりすることがありました。名刺に限らずですが、いろいろな障がいの方が作ったものを市役所の中で使ってくれていることが分かると、市全体で見守っていただいているんだなと改めて思います。今後なるべく注文していただけるとありがたいと思います。よろしく願いいたします。

司会

次に、15番ですが特にご意見がないようですので、16番に移ります。

<就労後の生活>

【事前質問16】

グループホームの新設や空き情報を、当会に事前にお知らせしていただくことはできますか。

【事前質問16 回答】

ふじみ野市内のグループホームは、令和5年10月1日現在で、9事業所が開所しております。グループホームの新設に関しましては、県で指定を行っておりますので、開所後であればお知らせすることが可能です。

グループホームの空き状況につきましては、その時々で動きがあることや市内の事業所も増えていることなどから、最新の情報は各事業所へ直接お問い合わせください。なお、市ホームページの障がい者総合相談支援センターりあんのページに事業所情報を掲載していますのでこちらも是非参考にしてください。

また、埼玉県ホームページにグループホーム等の事業所や各障害福祉サービス事業所が掲載されておりますので、ご参照いただき、実際にグループホー

ムを利用される場合は障がい福祉課へご相談ください。
という回答ですが、質問、ご意見、お願いいたします。

参加者

ふじみ野市に対して、グループホーム開設を考えている事業者からの相談はありますか。

障がい福祉課長

そのような質問を受けることも時々あります。一番多いのは一軒家を改装して4・5人程度のグループホームを開設したいといったものです。

参加者

ふじみ野市も空き家の問題があると思うのですが、空き家活用のひとつとして空き家とグループホームのマッチングみたいなものは斡旋してもらえないのでしょうか。

市長

障がい福祉というより、空き家対策の観点から申し上げます。

実際に空き家が増えているのは事実です。空き家が増えるのは様々な理由がありますが、実際には空き家は誰かが所有している財産ということが多いと思います。

相続される親族の方がいるにも関わらず、そのまま放置されているという空き家の多くは、その家庭にいろいろ事情があるからではないかと思います。例えば、敷地がすごく狭くて売却が困難だったり、再建築ができない場所だったりなどです。他にも相続する子どもたちが遠隔地に住んでいて、管理ができなくなってしまうなどもあると思います。その建物をグループホームにどうかという相談を持ちかけたとしても、承諾いただくことは難しいかなというのが、実態でございます。

しかし、使われなくなったアパートだとか大きな建物だったら、マッチングで活用できるということも可能性としてはあり得るので、ご提案いただいた内容も考えていきたいと思っています。

参加者

16番の回答としては、グループホームの新設や空き情報について知りたければ自分たちで調べてくださいということかもしれませんが、ふじみ野市にグループホームを開業することに興味がある事業者と我々をつなぐ役割みたいな

ものを市にお願いしたいと思っています。

障がい福祉課長

実際に大井武蔵野にグループホームを建てたいという事業者からの相談がありました。その際も利用者の声を聞きたいという話があったので各団体に声かけをし、事業者とつなぎました。今後もこういった事業者からの相談があれば、各団体へ取り次いでいきます。

参加者

ふじみ野市としてグループホームを作ることを応援しています、というような体制が取れば事業者からの相談数も増えてくるのではないかと思いますので、引き続きご協力よろしく願いいたします。

市長

最終的に実現には至りませんでした。高齢者施設の建設の相談を事業者から受けたときに、市として障がい者のグループホームも併設してほしいと要望したこともあります。

参加者

私は47歳になる子どもがいます。行動障害を持っておりまして、他害自傷含めていろいろあります。ここ1年間ぐらひは薬の影響でそういった行動はない状態ですが、ふじみ野市ではなかなか入居施設やグループホームに入れません。ぜひ、行動障害を持った人でも入れる公営のグループホームを作ってほしいです。両親亡き後、他市や県の施設で送られてしまい、ふじみ野市内に住み続けることができないということがとても悲しいです。

参加者

施設の職員の育成に力を入れていくことが一番重要なのではないかと思います。

司会

市が主催するグループホームの職員のための研修はありますか。

障がい福祉課長

県が人財育成の役割を担っております。県のカリキュラムに沿って各事業者は研修を受けていると認識しております。そのため、特に市単独での研修は現

在考えておりません。

司会

市から補助金を出すなどして、施設職員が研修を受けるよう促してほしいと思います。

障がい福祉課長

本年度、グループホームで支援する人や訪問介護ステーションで働く人などを集めて事例検討研修を実施しています。

参加者

子どもが行動障害を抱えているのですが、グループホームの質（支援してくれる人）を求めてしまいます。任せられるグループホームなのかどうか、対応できるのかどうかなどが心配になります。質問事項26は主に県が主担当のものになると思いますが、市のお考えをお聞かせください。

<その他>

【事前質問26】

強度行動障害従業者研修を開催しませんか。

県の事業であるとは思いますが、ふじみ野市や二市一町で人材確保のために必要であると考えます。

【事前質問26 回答】

強度行動障害のある方に適切な支援を行うために必要な研修であることは認識しております。県の地域生活支援事業必須事業のため県では、令和5年度は16カ所の法人を研修実施の事業者としてしています。現在のところ二市一町での開催は予定がありませんが、担当者会議等で御要望のあったことは伝えてまいります。

障がい福祉課長

県が行っている研修を受けたら全員が同じレベルになるのかという点と難しいと思います。また同じ支援ができるのかという質問を経験豊富な支援者にしたことがあります。まずはその人をしっかり知ることですよという話を受けました。何か良い方法はないか検討して参ります。

参加者

1日・2日程度の研修ですが、県の高度障害の研修は2万円程度かかります。

参加者

入所施設についてですが、ふじみ野市内で入所施設やグループホームの設置についてよく考えていただきたいと思います。

司会

来年のふれあい座談会の開催にあたり、今後どのような形態で行っていかれるか話し合いたいと思います。今後もふれあい座談会という形式でいくか障がい福祉課懇談会という形でいくかというものです。

市長

年間を通じて、秋はイベントが多い時期となっています。後で調整していただければと思いますが、少し開催希望日の幅を持たせていただければ最大限調整しますので、よろしくお願いします。

参加者

市内のグループホームが食材費を適正に徴収しているかどうか把握していますか。

障がい福祉課長

市では把握しておりません。調査するとしても、県の役割だと思っています。

参加者

不登校の子どもは増えているのですか。

学校教育課長

各学校にいます。不登校となってしまった子には、オンラインのほか、学習室や第2保健室という形で部屋を設けるなど、さまざまな方法で気軽に足を運べる体制を作っております。

参加者

以前も質問をしたかと思いますが、東台小学校と東原小学校の統廃合は決定ですか。

市長

市長と教育委員会が参加する総合教育会議の中で、教育委員会から東台小学校の今後についての話を受けました。私も東原小学校と統合すべきだと話し、会議で方針を決定しました。

参加者

東台小学校は市の持ち物なので、今後の利用方法は、市が自由に決めていけるのですか。

市長

市街化調整区域なので制約を受けると思います。東台小学校の利用方法についてまだ明確には決まっておられません。

司会

市内には特別支援学校はありませんが、富士見市特別支援学校担当の先生はふじみ野市にいらっしゃいますか。

学校教育課長

特別支援教育担当の指導主事が教育委員会におります。

司会

以前、子どもを富士見市の特別支援学校に通わせていました。年何回か保護者会が開かれるかと思いますが、車を持っていない家庭は困ると思います。ふじみ野市内で保護者会を開催できたら非常にありがたいと思いました。

学校教育課長

貴重なご意見として検討します。

参加者

12年間、所沢おおぞら特別支援学校に通っていましたが、コロナ禍で親が学校に行く機会も減少しています。県立の所沢おおぞら特別支援学校とふじみ野市のパイプを強くして行ってほしいと思っています。

参加者

教育支援プランについて質問させてください。通級指導指導教室と特別支援学級の線引きはどのように行っていますか。

学校教育課長

基本的には、本人の気持ちと、回数を決めずに保護者と面談しながら、保護者の意向の双方を確認しながら進めております。

参加者

先ほどの東台小学校の後を、ふじみ野特別支援学校という形にするのはどうでしょうか。

学校教育課長

ご意見として持ち帰らせていただきます。

参加者

学習発表会がなくなってしまった経緯を知りたいです。再開する予定はありますか。

学校教育課長

学習発表会はコロナ禍によって中止となりました。再開するかどうかはまだ明確に決まっておりませんが、今日いただいたご意見は持ち帰らせていただきます。

参加者

お出かけサポートタクシーの拠点に富士見市と所沢市の特別支援学校を設定していただくことをご検討いただけたらと思います。

障がい福祉課長

お出かけサポートタクシーは、65歳以上の人や障害者手帳の交付を受けている人など、対象者が限られています。また、共通乗降場はないため、どこでも乗り降りは可能ですが、運行範囲が2市1町になりますので、所沢市は範囲外になってしまいます。

参加者

本日、行動障害を持つ子はふじみ野市に住めないのかという文章を読んでこれは心の叫びだと思いました。我々は非常に不安なのです。何か尋ねても、県の進め方に沿ってやっているだけですからと言われてしまうことが多いと思います。なぜ住みたいところに住めないのかというもどかしさが残りました。

こういった思いを行政の方々にも心に留めていただきたいと思います。もし自分の家族が重度の障がいがあったらと考えてもらいたいと思います。

司会

ふれあい座談会の日程の件は、どの課にご連絡したらよろしいでしょうか。

広報広聴課長

窓口は、広報広聴課でお願いします。

司会

具体的な日程については、電話で調整させてください。

以上で市長と語るふれあい座談会を終了いたします。

